

輝き

三木市立三木特別支援学校 学校通信 No.1 令和6年 4月8日

進級・入学おめでとうございます

4月8日 着任式・始業式を行いました。小学部中学部ともに2年生以上の子どもたち23人が元気に登校してくれました。

はじめに着任式を行いました。今年は7人の転入者がありました。年齢や経験は様々ですが、全員がこれからの子どもたちとの出会いに心躍る思いでいます。それぞれの職員の活躍と、日々織りなす子どもたちとの人間模様に期待しています。

次に始業式を行いました。私から子どもたちに2つのお願いをしました。1つは、元気に健康に毎日を過ごしてほしいこと。もう1つは、気持ちや思いを友だちや先生に伝えてほしいことです。言葉だけでなく、表情やしぐさ、視線など気持ちを表す方法はたくさんあります。気持ちを表す方法をたくさん持っている、より正確に伝わりやすくなります。気持ちを表す方法ではないけれど、音楽やダンス、絵画、作文などの表現活動も大切です。子どもたちには自分が得意な表現活動を1つでも見つけてほしいと思います。

このように、子どもたちには「表現する人」になってほしい。そのためには、我々教員など普段関わる者が、子どもたちが表現したものを感度よく受け止めることが求められます。周囲の者が自身の感度を上げることで、子どもたちの表現が未熟であっても、気持ちが伝わりやすくなります。伝わることを子どもたちが実感できれば、子どもたちはもっと表現するようになり、表現方法もよりはっきりと正確になっていきます。子どもたちが「表現する人」となれるように、関わる我々も子どもたちと共に日々自分

身を磨き続けることが求められています。以上のことを心に刻み1年間取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育目標

個性をのぼし 社会とつながる

昨年度に引き続き、同じ目標にしました。個性をのぼすとは、好きなことや楽しめることを増やしたり深めたりすることです。そうすることで、自信や自己肯定感の高揚につながります。

また本年度は、社会とつながることに、力を入れていきたいと考えています。子どもたちが社会とつながり社会参加をするためには、子どもたちの資質・能力を高めることも大切です。それと同じくらい大切なのが、子どもたちを取り巻く社会が変わることだと思います。具体的には、本校や本校の子どもたちのことをより多くの人に知ってもらうことで、社会は変わっていくと思います。本校や本校の子どもたちに関心を持たれている方は、多くおられます。そのような方とつながりを持ち、学校や子どもたちのことを知ってもらう。知ってもらうことを通して、活動や経験を積める機会を増やす。経験する機会を増やすことで、子どもの自信や世界の広がりにつながり、周囲の理解も深まると考えます。

三木市が子どもたちにとって、より暮らしやすい街になるように、積極的に周囲に働きかけていきたいと思っています。

三木市立三木特別支援学校
校長 橋本 泰一